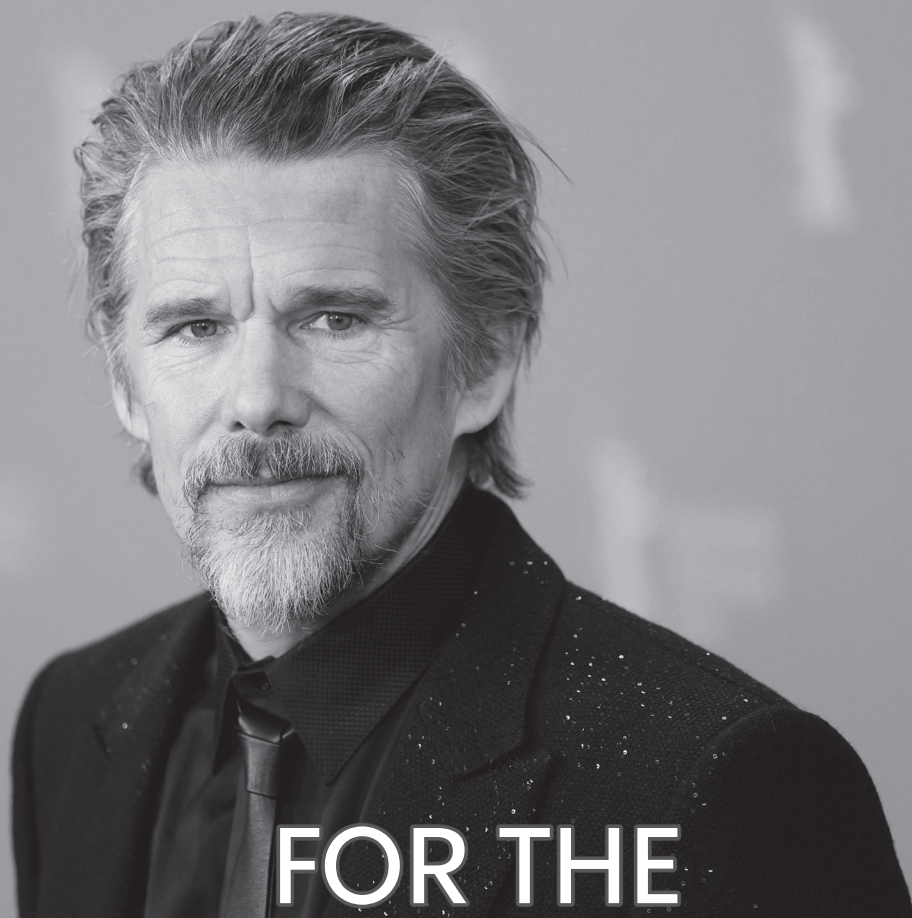




FOR THE LOVE OF ART

映画『ブルームーン』主演

イーサン・ホーク

相反するものの相関関係

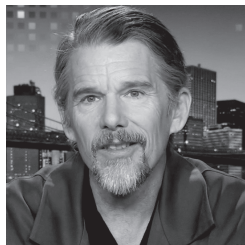
2026年3月に公開された映画『ブルームーン』で、イーサン・ホークが演じたのは伝説的作詞家ロレンツ・ハート。かつての相棒で作曲家のリチャード・ロジャースの成功の陰で、時代の移ろいとともに居場所を失っていくハートの姿を繊細に演じ、第98回アカデミー賞主演男優賞にノミネートされた。なぜホークはハートを演じることを強く望んだのか。作品に込めた思い、子どもたちの活躍を見守る父としてのまなざし、そして映画館の未来について、CNNに語った。



インタビュアー

クリスティアン・アマンプール

イラン人の父と英国人の母を持つ。生まれはロンドンだが、幼少期をテヘランで過ごす。英国でジャーナリズム養成講座を修了。渡米し、ロードアイランド大学でジャーナリズムを専攻、首席で卒業。1983年、CNNに入社。数々の紛争地帯で取材を行い、ジャーナリストとして高い評価を得る。2021年に卵巣がんで卵巣の摘出手術を受けたことを発表。現在も第一線で活躍する。



ゲスト

イーサン・ホーク

1985年に映画『エクスポラーズ』でデビュー。『ブルームーン』のリチャード・リンクレイター監督とは長年のタッグで知られ、『ピフォア』三部作（『ピフォア・サンライズ 恋人までの距離（ディスタンス）』（97）、『ピフォア・サンセット』（2004）、『ピフォア・ミッドナイト』（13））は、今なお語り継がれる代表作である。1970年、テキサス州生まれ。



Listening Quiz

(58) ロレンツ・ハートが芸術に求めたもの

Christiane Amanpour When I saw you turn up in *Blue Moon*, I literally nearly fell off my chair. You were barely recognizable—I mean, no hair and so short. I was just so fixated by the way you visualized Hart's height.

Ethan Hawke Well, it was a big part of his identity. He experienced the world, often, as the smallest person in the room, and it forced him to behave like the biggest person in the room; otherwise, he felt like people wouldn't even see him.

Amanpour Just tell me a little bit about Lorenz Hart and what made him a person who you wanted to inhabit.

Hawke Rodgers and Hart were the Lennon and McCartney of their era. For 25 years, their music was played on every jukebox in America. And all of the sudden, Rodgers is collaborating with a new partner, Oscar Hammerstein, and musical theater's changing. And it's almost like Lorenz Hart is put on a little iceberg that's just floating away as the jazz era ends and this new era of American arts is happening. And he knows he's witnessing his own death.

Amanpour I was also very moved by when he was at the party for the opening night of *Oklahoma!*, and in walks his erstwhile

turn up:

登場する、現れる

recognizable:

見分けがつく、それとわかる

be fixated by:

～に取りつかれている、目が釘（くぎ）付けになっている

visualize:

～を視覚化する

height:

①身長 ②《the height of》

～の頂点、絶頂

inhabit:

（ある人物）に扮（ふん）する、

（ある人物）を演じる

Oscar Hammerstein:

オスカー・ハマースタイン2世

▶脚本家、作詞家。1940年代～'50年代にかけて「ロジャース&ハマースタイン」として『サウンド・オブ・ミュージック』など名作ミュージカルを手がけた。

iceberg:

冰山

float away:

漂って離れていく

witness:

～を目の当たりにする

move:

～を感動させる、～の胸を打つ

Oklahoma!:

『オクラホマ!』 ▶ロジャース&ハマースタインによる第1作。1943年に初演されて大ヒットし、ブロードウェイでロングラン記録を打ち立てた。

erstwhile:

かつての、以前の

in walks...

▶...walks in の倒置文で、誰が入ってきたかを強調するために使われている。ここでは主語が複数形なのでin walkとするのが適切。

クリスティアン・アマンブール 映画『ブルームーン』であなたが登場するのを見たとき、私は本当に椅子から転げ落ちそうになりました。あなただとほとんどわからなかったのです——だって、髪が少なく、身長がとても低くて。すっかり目を奪われてしまいました、(ロレンツ・)ハートの身長をあのよう^にに視覚化したことに。

イーサン・ホーク まあ、そこは彼のアイデンティティーの重要な部分でしたからね。ハートはしばしば、「部屋でいちばん小柄な人間」として世界を経験していました。そのせいで、「部屋でいちばん存在感のある人間」としてふるまうしかありませんでした。そうしなければ、自分が人の目に入りもしないと感じていたのです。

アマンブール ロレンツ・ハートについて少し教えていただけますか。また、彼のどんなところが「この人を演じてみたい」と思わせたのでしょうか。

ホーク 「ロジャース&ハート」は、あの時代の「レノン&マッカートニー」のようなものでした。25年間にわたって、彼らの音楽はアメリカ中のジュークボックスでかけられていました。ところが突然、ロジャースが新しいパートナー、オスカー・ハマースタインと組むことになり、ミュージカルそのものも変わっていきます。ロレンツ・ハートにしてみれば、小さな氷山に取り残されたまま流されていくようなものですよ、(1930年代～'50年代の)ジャズの黄金時代が終わりを告げられ、アメリカ芸術の新時代が始まろうとするなかで。そしてハートは、自分の(芸術家としての)「死」を目の当たりにしていることに気づいています。

アマンブール もう1つとても胸を打たれたのは、ハートが『オクラホマ!』の公演初日のパーティーにいて、そこにかつてのパートナーだった



『ブルームーン』
全国劇場にて上映中
配給：ロングライド
©2025 FUNNY VALENTINE, LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

■ STORY

1943年3月31日の夜。作曲家リチャード・ロジャースの革新的なヒット作『オクラホマ!』初演の成功を祝う宴が、華やかに催されていた。ロジャースは、かつて作家ロレンツ・ハートと名コンビ「ロジャース&ハート」を組んだ盟友である。

一方、ブロードウェイのレストラン・サーディーズのバーに付むハートは、長年積み上げてきた自信が静かに崩れ落ちていくのを感じていた。

夜が明ける頃、ハートは、自らの才能を見限った世界、そして愛することさえ叶わぬように思える現実と、真正面から向き合うことになる。